

平成21年度 第2回山梨県立図書館協力会研修報告

山縣仁美
桂島恵美

○研修会

■日時 平成22年2月26日(金) 午前13:00~14:30

■場所 県立図書館館内(会議室と館内の端末のところ)

■参加者 県立図書館協力員 10名(五十音順・敬称略)

石川順子、大橋千鶴、大山龍樹、桂島恵美、甲田誠、
田中祐子、深澤啓子、三井芙美江、山縣仁美、横内幸枝

この日は、ちょうど、バンクーバーオリンピックのクライマックス、フィギュアスケート女子のフリーの演技が行われている時間で、みな結果を気にしながらの研修となりました。

「図書館の読みたい本を見つけない」ということで、県立図書館企画調査課の中込さんが講師を引き受けてくださいました。コンピューターによる検索の仕方だけでなく、県立図書館はじめそれぞれの図書館には特色があるので、それを知ったうえで本を探すとよい、というお話もありました。講義を聞いた後、実際に端末を使って検索してみました。大切なことは、あきらめずにいろいろな言葉で試してみること、遠慮せずに図書館の方に聞いてみることに聞いてみることに、ということです。

図書館の閉館日なら検索用の端末が自由に使えるだろう、という今回の企画でしたが、職員の方は開館日よりむしろ忙しそうで、ご協力いただき感謝いたします。

(山縣)

昨日平成22年2月26日(金)午後1時半より「読みたい本を見つけない」をテーマに第2回図書館協力員研修が行われました。県内における県立図書館の役割を考えつつ収集される膨大な資料の中から自分の求める資料を探す楽しみがわかりました。

講師中込和寿副主査のプロジェクターを使っての詳しい説明があり、実際に本を手にとった時には小さな喜びさえ感じました。私ももちろんですが、皆さん本が大好きです。60万冊ある中からどのような方法で本を探すのか今回の研修で大変勉強になりました。検索用のパソコンを使い、キーワードの決定、検索方法の決定、それから色々な発想をし、目的の本に辿り着くまでの課程は大変楽しかったです。人間に自分の居場所があるように、本にも心地良い居場所があります。そのために職員の方々の日々の努力があり、収集、整理、保存、提供がなされることに感謝しております。これからも県民のために開かれた図書館であることを祈っています。

(桂島)

○懇談会

■日 時 平成22年2月26日(金) 午前14:45~16:00

■場 所 県立図書館会議室

■参加者 県立図書館協力員 9名(五十音順・敬称略)

石川順子、大橋千鶴、大山龍樹、桂島恵美、田中祐子、
深澤啓子、三井芙美江、山縣仁美、横内幸枝

図書館職員 4名

清水館長、飯沼リーダー、山形リーダー、柳本非常勤囑託

県立図書館協力会発足初年度の締めくくりとなる懇談会でした。年間事業報告を一覧し、簡単に一年間の活動を振り返りました。そのあと、自己紹介もかねて、一人ひとりの感想など話していただきました。皆さん、無報酬でもやりがいを感じて、楽しく活動されているようでした。図書館長さんからもお言葉をいただきました。新年度の募集要項から、新しい活動内容についていろいろなアイデアがだされました。障害者の方へのサービス、中高生への読書支援、館内での利用案内などなど……話題に尽きず、予定時間を超過していました。

(山縣)